

受入先	NPO 法人 頼娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 6 年 9 月（着任 1 年 3 カ月目）
主な活動	1 地方ローカル鉄道の地域との取り組み事例視察 2 全国ローカル鉄道サポーターズサミット参加 3 ゴッソイ祭りの打ち合わせ、川辺高校でのワークショップ参加

1. 地方ローカル鉄道の地域との取り組み事例視察

指宿枕崎線の指宿～枕崎駅間を含めたローカル鉄道のあり方について、全国各地の様々な路線でも話題に上ることが増えており、地域と事業者が連携して路線の活用に取り組んでいる箇所を視察しました。

岐阜県恵那市を中心に運行している明知鉄道ですが、きのこや寒天などの地域特産品を活用し、季節ごとの特色を出した食堂列車の運行や、駅ごとのストーリーを作っていたことが印象的です。

駅から広がるまちづくりに取り組んでおり、レトロな街並みに合わせた岩村駅や、健康センターと特産品のミュージアムの複合施設となっている山岡駅のほかに、明智駅周辺は、大正時代に養蚕で栄えたころの建物が多く残っており、観光資源として活用した事例です。街の中に点在する建物をめぐること、周辺のお店も認知され、全体の賑わいが出る仕組みを学ぶことができました。また、地域の方々や観光客が歩きやすくする工夫をするなど、回遊型の観光に取り組んでいることを感じました。

経験や体験に価値を置き、個人で行動する旅行者が増えていることもあり、初めて訪れる旅行者が駅に降りたときに楽しめる。また、駅を中心に経験や体験が広がるような取り組みを行ってまいります。

※ 左の写真は明智駅、右の写真は明智町にある大正浪漫館



2. 全国ローカル鉄道サポーターズサミット参加

地域を走っている鉄道を盛り上げたい！と考えて活動を行っている方々が集まり、活動報告や意見交換、交流を行うイベントである「全国ローカル鉄道サポーターズサミット」に参加しました。

今年は福島県の会津地方を走っている JR 只見線で開催されました。同線は 2011 年の秋に大雨による災害で不通となる区間が発生しましたが、地域住民の方々の熱意により復旧工事が行われ、2022 年 10 月に運転再開した路線です。

地域住民の方々が路線に関心を持ち、地域の良さを地域の方々に PR することや、近隣に魅力的なものがあると移動が発生するため、PR して知ってもらうことの大切さを実感しました。

また、他の地域での取り組みも紹介され、鉄道があるから人が来るので、別の価値を作り上げていくことや、鉄道の維持はまちづくりにつながる、をビジョンとして沿線価値の向上に努めており、事例も交えながらサミットが進みました。

行政の負担を最小限にするには、地域住民の方々が主体となることの大切さを学ぶ良い機会となりました。

2 日目は、観光協会の方による沿線ガイドがあり、復旧した区間の見所や、エピソードを交えながら紹介していただきました。沿線を多くの方々に知っていただきたい、そして鉄道が走っている区間だから見える景色がある、というガイドの思いをひしひしと感じるとともに、鉄道が走る風景を残したいという思いだけでは動かないこともあるが、思いがなければ何も動かない事例であると感じました。

当たり前と思っているもののの中に価値があり、その価値は地域が持っています。

思いを同じくする方々とその価値を見つけていき、発信する取組みを行っていきます。

※ 左の写真はサミットの様子、右の写真は観光協会の方による沿線ガイド



3. ゴッソイ祭りの打ち合わせ、川辺高校でのワークショップ参加

11月17日(日)に穎娃地区で開催されるゴッソイ祭りの打ち合わせを行いました。

同じ地域おこし協力隊の佐藤さんと初めて出店するため、当初は手探り状態でしたが、徐々に形になりつつあります。

ターゲットを子どもたちに絞り、どのような出店にすれば子どもたちが喜んでもらえるか、お祭りでの笑顔を想像しながら打ち合わせを進めました。楽しく体験してもらうことを目標に考え、3つに絞りました。

それぞれの役割を分担したのち、材料集めや製作に取り組んでいます。

川辺高校でのワークショップに参加しました。

教室を断熱する作業を高校生とともに行いました。自分の担当は天井に断熱材を入れることで、普段見ることのない天井裏はどうなっているのだろうと興味津々のなかで作業を進めました。

高校生とともに断熱材を教室まで運ぶことや(意外に重かったです)、入れるためにつなぎ目のところをテープで巻く(隙間が出ないようにする)のが大変だったりましたが、知見のある方からアドバイスをいただき、学びながら作業しました。

断熱材を片方から送り込み、もう片方で受け取るのも思った以上に大変でした。

鉄道のない地域での通学となると、遠方からの通学はバスが頼りになりますが、運転手不足による減便が行われて不便となり、支障が出ているのでは、と思いました。

鉄道を使って通学できる、ということも高校選びの一つの要素であり、魅力を引き出す一つであることを感じ、鉄道の存在の大きさを感じました。

